

折り返し式テープ図教具 その③ テープ図Navi

2025.8 算数工房

らくらくタイルやテープ図3兄弟などのスライド系の教具には窓開けが必要だ。たくさん作るとなると、時間がかかる作業になる。大きな数の電車の窓開けをカッターナイフからポンチに変えることが出来たように、これらの教具の窓開けも工夫できないかなと考えていた。

クリアポケットを使うんだから、両側から折り返す（窓ではなく”すき間”になるが）だけではうまくいかないだろうかと考えた。らくらくタイルの型紙を修正していたところだったので、「折り返し式」を作ってみた。写真が試作品。両側から折り返しているだけだから、カッターナイフで窓を開けるよりはだいぶ簡単になる。ラミネート不要、窓開け不要でだいぶ省力化になる。（※スライド板はラミネートする必要があるが・・・）



使い方は算数工房教具作り①参照（動画もあり）

くらべール・くらべールⅡ、テープ図navi（テープにおまかせ）

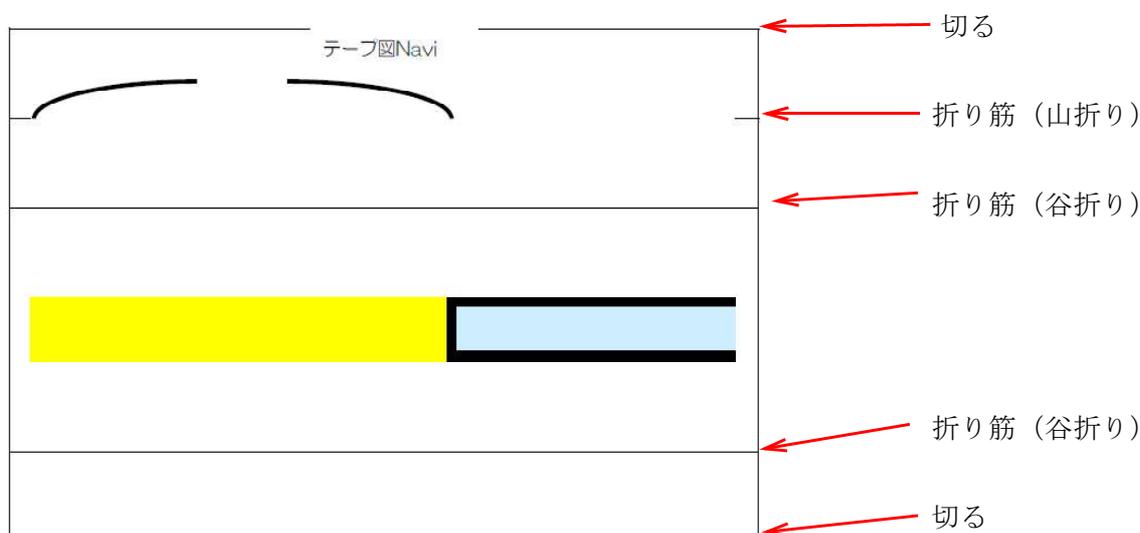
準備物

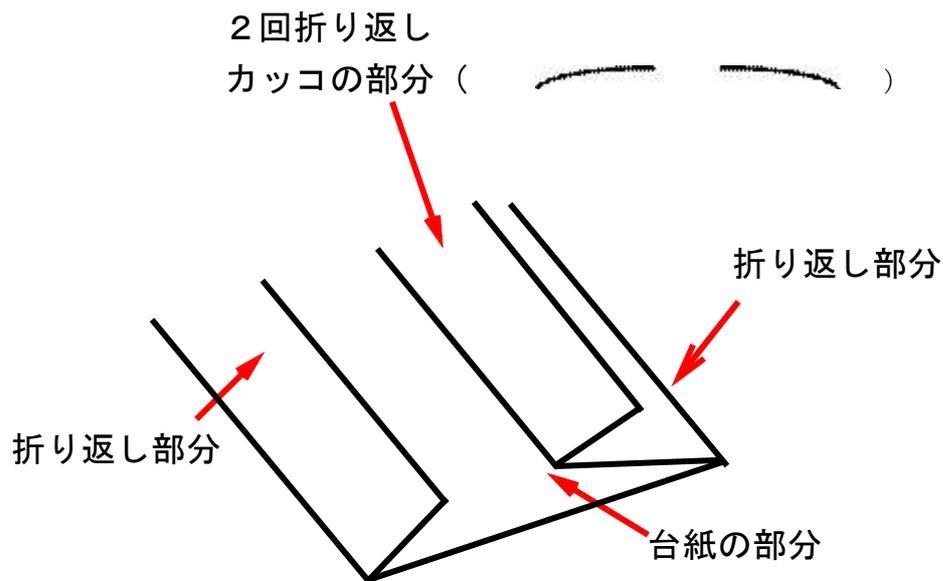
- ・使ったクリアポケットはセリアで買った。
ロングステッカー用（53 × 157 mm）
チケット用スリーブ（82 × 184 mm）
- ・スライド板は型紙をラミネートしておく。
- ・千枚通し（折り線をつけるため）



「テープ図Navi」の作り方

*型紙を印刷し、下のように切り離し、また折り筋をつける。

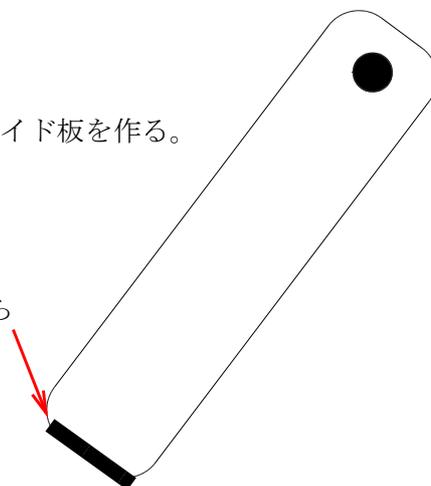




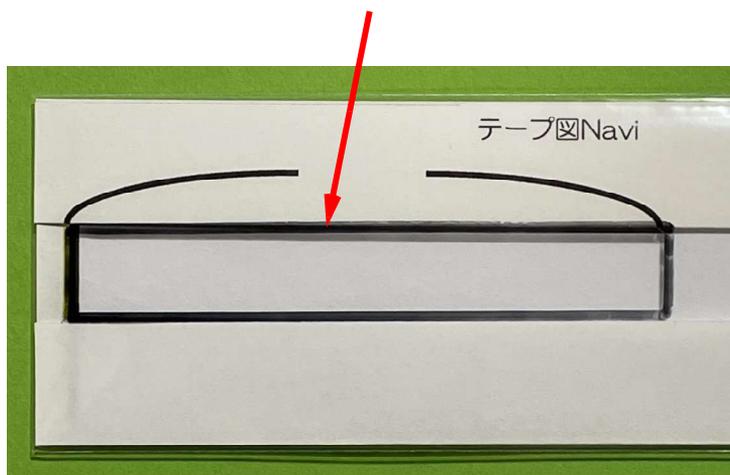
*ロングステッカー用 (53 × 157 mm) の方に入れる。

*スライド板は、白紙(黒い線入り)をラミネートし、幅48mmのスライド板を作る。
角は「かどまる」などで角を取る。

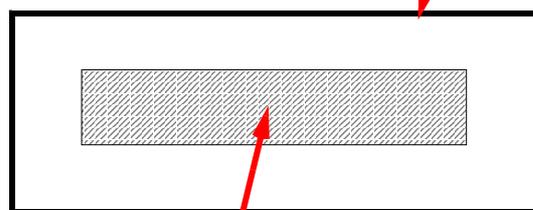
黒い線を書いてから
ラミネートする



*黄テープの部分を囲む黒い線を型紙に入れることができなかった。そこで、苦肉の策で油性マジックで手書きすることにした。完成後クリアポケットに直接油性マジックで書く。

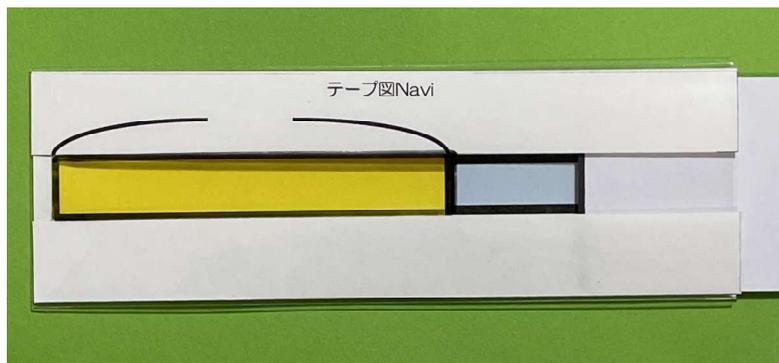


※黒い囲みを書くための道具（白表紙で枠をくり抜いたもの）を作っておくとたくさん書くときには便利。



15 × 90 mm

完成！



※スライド板の●部分に、取っ手を付けた方がいいでしょうね。
※白表紙などで、ひと回り大きな台紙に貼り付けた方が使いやすいかな。

これで、折り返し式のテーブル図 3 兄弟が完成。(2025.8.24)

テープ図Navi



テープ図Navi

